

カーコンカーリース

「頭金0円」、しかも「登録時諸費用」や乗っている間の「車検基本料」、「自動車税」、「自賠責保険料」、「自動車重量税」すべてが月々税込み **8,000円** (※) に含まれています。さらに、ご契約期間満了時には車がもらえます。 ※8,000円は、ボーナス月加算ありの金額となります

「私は、一日266円で

(※)



※9年カーリースの場合
ボーナス月加算あり

車に乗ってます」

※266円は、ボーナス月加算額を含んでおりません



カーコンカーリースの **0120-29-5353** <受付時間>8:00~22:00
お申込みお問い合わせは 〒108-0075 東京都港区港南2-11-19大滝ビル

自転車と車

自転車の「ながらスマホ」運転がやると法制化された。違反した場合には「6カ月以下の懲役または10万円以下の罰金」が科せられる。このところの健康志向もあって、車で街を走っていても、自転車を見かけることが多くなってきた。ところが、少ない数の運転手が、一方通行の逆走、信号無視、スマホを見ながらの蛇行運転をしている。

令和5年に自転車乗用中に死亡した人数は346名、自転車関連事故の件数は7万2339件だが、実態的にはそれを上回る数字であることは間違いない。加えて、自転車を避けることで車同士がぶつかったり、急ブレーキをかけることで追突事故が起ったり、自転車が増えたことよって起きる交通事故は、急増しているに違いない。ましてや、自転車による宅配などの仕事が増えたことよって、彼らのハンドルには、必ずといっていいほどスマホが装着してある。GPS(地図ナビ)を眺めながらの危険運転が、当たり前のようになっている。つい最近、自転車による交通事故を見た。幼児の手を引いて横断歩道を渡る母親に、猛スピードで自転車があふつかったのだ。全く目に入っていなかったのだろう。

自転車は、道路交通法上、軽車両と位置付けられている。時速20キロ近いスピードを出す人もいるので、ヘルメットを装着することが努力義務化されている。歩く延長線上にある交通メディアなだけに、気楽に乗り回すことができる。

車社会というのは、一般的に四輪の車を考えがちであるが、オートバイや自転車などの二輪車からベビーカー、さらには自動の車椅子などの多様な交通手段で出来上がっている。今後は、GPSの発展に伴う無人運転の車が普及してくるのであるが、残念ながらオートバイや自転車などは永遠に無人化することはないだろう。従って、カーコンビニ倶楽部においても、新しい21世紀型の車社会のあり方について見つめ直し、改めて車の意義と目的を研究する必要があるのかもしれない。



林 成治 Seiji Hayashi
出身:北海道 青山学院大学経営学部卒業
1981年4月:プロミス株式会社入社
2008年4月:同社執行役員就任
2008年8月:カーコンビニ倶楽部株式会社 常務取締役就任
2008年10月:同社代表取締役就任
2009年8月:バブル債権回収株式会社 常務取締役就任
2010年4月:株式会社Do Financialサービス取締役就任
2011年1月:同社取締役退任
2011年1月:カーコンビニ倶楽部株式会社 代表取締役就任